

感染性胃腸炎（ノロウイルス等）患者発生状況（感染症発生動向調査）

1月第2週の定点あたりの報告数は11.31と、警報解除基準値を下回りました。区別では港南区21.80、都筑区16.67、神奈川区16.33、磯子区12.50、戸塚区12.00、栄区12.00などで依然として報告が多い状態が続いています。

※定点・定期的に患者発生状況を報告していただいている医療機関（市内約90か所）を定点医療機関といい、そこから報告された1週間分の患者数の平均値が定点あたり報告数です。

（横浜市衛生研究所 HP より）

ノロウイルス 5つの対策

① 徹底した手洗い

まずは、しっかり洗い流すことが肝心です。ノロウイルス対策には衛生的手洗い。衛生的手洗いとは、「洗って、ふいて、消毒」まで行う手洗い方法です。

② 汚物の処理

嘔吐物や排泄物中には、ノロウイルスが大量に排出している可能性があります。感染拡大を防止するために「すばやく」「適切に」処理してください。

③ 環境の清浄

汚染拡大を防止するためには、施設環境の清浄が必要です。多くの人が触れるところには、ウイルスのいる可能性があります。

④ 健康管理

ノロウイルスは、人から人に感染することがあるため、汚染を拡げないように個人の健康管理が大切です。

⑤ 食品の加熱調理

ノロウイルスによる食中毒を防ぐためには、食品取扱者や調理器具からの二次汚染を防ぐことに加え、食品を中心部までしっかり加熱することが大切です。

塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）の消毒薬（希釈液）の作り方

【参考】ペットボトルを使用した希釈方法



左の写真のように500mlのペットボトルのキャップ（ふた）は約5mlの容量です。計量カップ等がない場合は、これを用いて希釈できます。

（例）原液が5%の消毒剤を希釈する場合

●キャップ2杯（約10ml）の消毒剤原液を、ペットボトル1杯（500ml）の水に加えれば、50倍希釈となり、1000ppm（0.1%）の消毒液ができます。（対象物・嘔吐物、ふん便自体・拭き取った嘔吐物等の付いた紙・ふん便のついたオムツ等）

●キャップ半分弱（約2ml）の消毒剤原液を、ペットボトル1杯（500ml）の水に加えれば、250倍希釈となり、200ppm（0.02%）の消毒液ができます。（対象物：調理器具・床、トイレのドアノブ、レバー、便座、手洗いの水道栓等）

（注）消毒液の入ったペットボトルは、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきりと表示してください。薄めた消毒液は時間が経つにつれて効果がなくなりますので、使うときに原液を希釈して必要な量だけ作り、作り置きをしないでください。

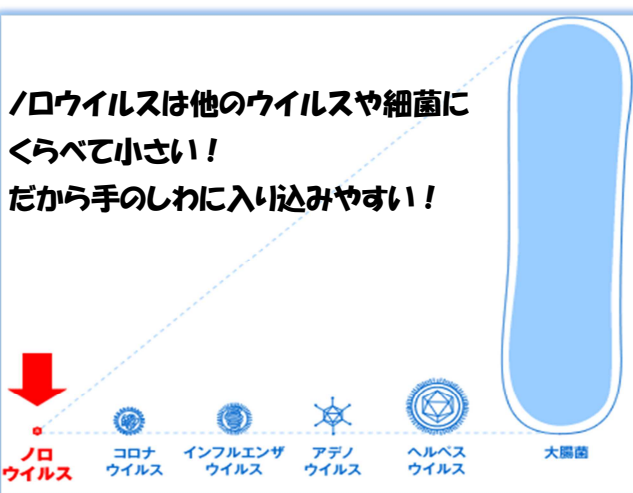
体調不良の際のお願い

給食パンで浜松市の小学生児童らがノロウイルスによる集団食中毒を起こした問題もあり、衛生管理の徹底に各学校でも取り組みが行われていると思います。

ノロウイルスの5つの対策④にあるように、学業担当者の方は健康管理に注意を配り、下痢などの症状がある場合は給食場入室等の学校薬剤師執務を控える等の対処をお願いします。ご多忙中に日程調整して学校薬剤師執務を行って頂いていると思いますが、ご留意くださるようお願いいたします。

平成26年度第1回学校薬剤師研修会の開催について

日時 平成26年4月13日（日） 14時～17時
 場所 神奈川県総合薬事保健センター1Fホール（根岸駅）
 内容 ・新任薬剤師研修（給食室 環境検査について）
 ・プール検査について・粉じん計の使い方について
 内容は変更する場合があります。申し込みは3月以降に支部を通じてお願いします。



サラヤ株式会社 HP より引用